

中央アジア関連研究文献リスト 2010

本リストは、2010年（1月～12月）に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆および旧ソ連領のムスリム地域およびその周辺地域に関する学術文献をリストアップしたものである（理科系のものを除く）。原則的に、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや事典項目等は除外した。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

書籍

エルタザロフ、ジュリボイ（大阪大学世界言語研究センター編集；藤家洋昭・小松格・吉村大樹訳）『ソヴィエト後の中央アジア：文化、歴史、言語の諸問題』大阪大学出版会（3,990円）
大杉卓三、大谷順子編『人間の安全保障と中央アジア』（比較社会文化叢書 18）花書院（2,500円）

「中央アジアにおける情報通信技術と社会開発」（大杉卓三）

「中央アジア諸国の社会開発と国際保健・人口学：人間開発指標（HDI）としての HIV 感染学および喫煙率」（大谷順子）

「南カザフスタン HIV / AIDS：小児病棟院内感染のケース・スタディ」（庄司ゆりこ）

「人間の安全保障と政治力学：カザフスタンにおける難民保護の事例」（羽生勇作）

「タジキスタンでの貧困撲滅対策」（柰尾雪絵）

「中央アジア諸国における社会開発と地域コミュニティ：ウズベキスタン、キルギス、タジキスタンにおけるコミュニティ観と地域社会教育の観点から」（河野明日香）

「カザフスタンにおける日本語教育の現状と課題：カザフ民族大学における事例を中心に」（久木元恵）

「新疆ウイグル自治区における牧民の定住化政策とその現状」（森川哲雄）

「1980～90年代の新疆における「民族学校」の役割」（リズワン・アブリミティ）

「カザフスタンに対する日本の経済協力」（飯島聰）

などを所収。

河野明日香『「教育」する共同体：ウズベキスタンにおける国民形成と地域社会教育』九州大学出版会（4,410円）

窪田順平編『ユーラシア中央域の歴史構図：13～15世紀の東西』総合地球環境学研究所「ギヤースッディーン・ナッカーシュのティムール朝遣明使節行記録 全訳・註解：ハーフィズィ・アブルー『バイスングルの歴史精華』から」（小野浩）

などを所収。

SHIMADA Shizuo and Sharifa TOSHEVA, *Ṣadr al-Dīn ‘Aynī, Bukhārā inqilābīning ta’rīkhī*, TIAS Central Eurasian Research Series, No.4, TIAS: Department of Islamic Area Studies, Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, The University of Tokyo（非売品）

新免康、河原弥生編著『フェルガナ盆地のウイグル人と越境の記憶』NUHU プログラムイスラーム地域研究東京大学拠点（非売品）

ダダバエフ, ティムール『記憶の中のソ連：中央アジアの人々の生きた社会主義時代』筑波大学出版会（3,990円）

NODA Jin and ONUMA Takahiro, *A Collection of Documents from the Kazakh Sultans to the Qing Dynasty*, TIAS Central Eurasian Research Series Special Issue, No.1, TIAS: Department of Islamic Area Studies, Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, University of Tokyo（非売品）

藤本透子『カザフの子育て：草原と都市のイスラーム文化復興を生きる』（ブックレット《アジアを学ぼう》19）風響社（840円）

堀江典生『現代中央アジア・ロシア移民論』ミネルヴァ書房（8,400円）

「中央アジア地域の人的資源と社会状況」（雲和広）

「モスクワの中央アジア移民：移民の語りから構築する中央アジア移民像」（堀江典生、リャザンツェフ, セルゲイ）

「中央アジアのシティズンシップと安全保障：ロシア国籍と二重国籍制を中心に」（湯浅剛）

などを所収。

堀江則雄『ユーラシア胎動：ロシア・中国・中央アジア』岩波書店（760円＋税）

MILLWARD, James A., SHINMEN Yasushi and SUGAWARA Jun, *Studies on Xinjiang Historical Sources in 17–20th Centuries*, Tokyo: Toyo Bunko（非売品）

“Three Groups of *Tadhkira-i khwājagān*: Viewed from the Chapter on Khwāja Āfāq” (SAWADA Minoru)

“Addendum to the Turkic Translation of *Tārīkh-i Rashīdī* by Khwāja Muḥammad Sharīf”

(Amanbek JALILOV and SHINMEN Yasushi)

“Tradition and Adoption: Elements and Composition of Land-related Contractual Documents in Provincial Xinjiang (1884-1955)” (SUGAWARA Jun)

“A Set of Chaghatay and Manchu Documents Drafted by a Kashgar Hakim Beg in 1801: A Basic Study of a “Chaghatay-Turkic Administrative Document”” (ONUMA Takahiro)

“Materials in the *Manwen lufu* regarding Hui Muslim Migrants to Xinjiang” (HUA Li)

などを所収。

論文

秋山徹「クルグズ遊牧社会におけるロシア統治の成立：部族指導者「マナプ」の動向を手がかりとして」『史学雑誌』119(8), 1339–1373 頁

アブドロスリ, グリザル「新疆ウイグル自治区における農村観光開発」『国際文化学』(22), 85–101 頁

アプリミティ, リズワン「中華人民共和国成立後の新疆における「民族学校」の漢語教育をめぐる一考察」『アジア・アフリカ言語文化研究』(78), 43–77 頁

Isahaya, Yoichi, “Vicissitudes of *Nourūz*: Islam, Zoroastrianism and Historical Time Scales,” in *Secularization, Religion, and the State*, edited by Haneda Masashi, UTCP, pp. 63–74.

稲垣文昭、市川顕「タジキスタンの水資源政策に見るアラル海流域問題：ソ連からの制度的遺産とエネルギーとしての水資源」『政策情報学会誌』3(1), 43–54 頁

稲葉稜「8世紀前半のカーブルと中央アジア」『東洋史研究』69(1), 174–151 頁

岩崎正吾「多民族・多言語国家における教育の現状と課題：ロシア、中国、スリランカ(1) ロシア・タタールスタン共和国を事例として」『季刊教育法』(162), 74–80 頁

大川玲子「ウズベキスタンのウスマーン写本：「世界最古」のクルアーン（コーラン）写本」『国際学研究』(37), 87–93 頁

岡奈津子「同胞の「帰還」：カザフスタンにおける在外カザフ人呼び寄せ政策」『アジア経済』51(6), 2–23 頁

小沼孝博「1770年代における清－カザフ関係：閉じゆく清朝の西北辺疆」『東洋史研究』69(2), 1–34 頁

小川啓一、中室牧子「移民と送金が就学率に与える影響について：タジキスタンの家計調査を用いた実証研究」『国民経済雑誌』201(6), 67–84 頁

加藤直人「新疆北部およびアルマトィ現地調査報告」『満族史研究』(8), 129–149 頁

- 梶浦岳「クルグズ共和国北部ウスックグル州テスケイ山脈における家畜飼育の形態」『地域研究』50(2), 18-32 頁
- 河東哲夫「「中央アジア」はユーラシアの失われた環」『ロシア・ユーラシア経済』(932), 2-16 頁
- カリーモワ, スライヤー(木村暁訳)「ウズベキスタンにおけるイスラーム期文献史料の研究: 成果と課題」『イスラーム地域研究ジャーナル』(2), 64-76 頁
- 川口琢司、長峰博之「15世紀ジョチ・ウルスとモスクワの相互認識: ロシア語テュルク語文書を中心に」『北西ユーラシア歴史空間の再構築: ロシア外部の史料を通じてみた前近代ロシア世界』(北海道大学スラブ研究センター共同利用・共同研究拠点公募プログラム・シンポジウム報告書), 93-125 頁
- Кавагучи, Т., Х.Нагаминэ, Х., Некоторые новые данные о «Чингиз-нама» Утемиша-хаджи: в системе историографии в Дашт-и Кипчаке.// Золотоордынская цивилизация: Сборник статей. Выпуск 3. Казань: Центр золотоордынских исследований ИИ АН РТ, С. 44-52.
- 河原弥生「コーカンド・ハーン国期フェルガナ盆地におけるムジャッディディヤの発展」『内陸アジア史研究』(25), 31-54 頁
- 川本正知「モンゴル帝国における戦争:遊牧民の部族・軍隊・国家とその定住民支配」『アジア・アフリカ言語文化研究』(80), 113-151 頁
- 木下恵二「一九三〇年代新疆盛世才政権下の「ソ連型」民族政策とその政治的矛盾」『史學』78(4), 413-441 頁
- 小嶋祐輔「ウイグル族と「漢化」:文化の二分法を超えて」小長谷有紀、川口幸大、長沼さやか編『中国における社会主義的近代化: 宗教・消費・エスニシティ』勉誠出版, 221-245 頁
- 小杉末吉「一九九四年ロシア連邦-タタルスタン共和国権限区分条約論 (1) 交渉過程を焦点に据えて」『法学新報』117(3・4), 1-86 頁
- 小松久男「中央アジアのムハージル」宮治美江子編『中東・北アフリカのディアスポラ』(叢書 グローバル・ディアスポラ 3) 明石書店, 102-125 頁
- 小松久男「中央ユーラシアの変容と波動」小杉泰編『イスラームの歴史2 イスラームの拡大と変容』(宗教の世界史12) 山川出版社, 131-164 頁
- 金野雄五「ロシア・ベラルーシ・カザフスタンの関税同盟」『ロシアNIS調査月報』55(6) (通号944), 14-25 頁
- 金野雄五「ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟の始動」『国際金融』(1211), 34-39 頁
- 澤井充生「回族の親族カテゴリーをめぐる覚書」『人文学報』(423), 43-69 頁

- 澤井充生「中国共産党のイスラーム政策の過去と現在：寧夏回族自治区銀川市の事例」小長谷有紀、川口幸大、長沼さやか編『中国における社会主義的近代化：宗教・消費・エスニシティ』勉誠出版, 57-86 頁
- 清水由里子「国民党系ウイグル人の文化・言論活動（1946-1949年）について：『自由』紙にみる「テュルク」民族意識の検討を中心に」『日本中央アジア学会報』(6), 23-45 頁
- 下出鉄男「新疆の杜重遠：盛世才政権との関係をめぐって」『日本中国当代文学研究会会報』(24), 34-53 頁
- 新永康「オアシス都市ヤルカンドとイスラーム聖者廟」中央大学人文科学研究所編『アフロ・ユーラシア大陸の都市と宗教』（中央大学人文科学研究所研究叢書 50）中央大学出版部, 145-178 頁
- 菅原睦「チャガタイ語詩の押韻に関する一考察」『西南アジア研究』(72), 36-47 頁
- スレイメーノワ, グルナラ・ザハーノブナ（中山顕訳）「カザフスタンにおける司法改革：科学的分析の観点から（1）」『名古屋大学法政論集』（通号 234）, 147-171 頁
- スレイメーノワ, グルナラ・ザハーノブナ（中山顕訳）「カザフスタンにおける司法改革：科学的分析の観点から（2）」『名古屋大学法政論集』（通号 235）, 277-322 頁
- 竹原美佳「中国国有石油企業の対中央アジア投資戦略」『東亜』(521), 22-31 頁
- タシ・メメティ「婚姻関係から見るウイグル人の帰属意識：トルコ共和国のウイグル人村を事例に」『国際人間学フォーラム』(6), 27-59 頁
- タシェフ, ヌールヤグディ（木村暁訳・解説）「ウズベキスタン共和国科学アカデミー東洋学研究所所蔵コレクション：イスラーム文化の諸問題の研究におけるその意義」『日本中央アジア学会報』(6), 47-56 頁
- タスタンベコワ, クワニシ「カザフスタンの多言語教育政策に関する一考察：「言語の三位一体」政策に焦点を当てて」『比較教育学研究』（通号 41）, 117-137 頁
- タスタンベコワ, クワニシ「カザフスタンの言語教育政策に関する一考察：在外帰還カザフ人（オラルマン）の言語問題に着眼して」『教育学論集』（筑波大学大学院人間総合科学研究科教育学専攻）(6), 83-103 頁
- 田中周「新疆ウイグル自治区における国家統合と民族区域自治政策：1950年代前半の自治区成立過程から考える」『早稲田政治公法研究』(94), 63-76 頁
- 田中周「改革開放期にみるウイグル・アイデンティティの再構築：トルグン・アルマス著『ウイグル人』を中心に」『ワセダアジアレビュー』(8), 60-65 頁
- 田中哲二「中央アジア・コーカサスの政治・経済の現状と日本の立場」『アジア時報』41(6)（通号 457）, 20-58 頁
- 地田徹朗「多民族領域帝国ソ連における地域・空間認識：戦後スターリン期を中心に」『地

- 域研究』10(2), 109-130 頁
- 趙宏偉「中国の外交における中央アジアの意味：一九九〇年代半ばから」『季刊中国』(100), 36-50 頁
- 翟海燕「新疆ウイグル自治区高等教育における「教育公平」：アカデミック・リテラシー・カリキュラムに着目して」『哲学』123, 271-294 頁
- 杜山那里（デュセンアイル・アブディラシム）「タルバガタイ参贊大臣宛文語カザフ語文書1種」『西南アジア研究』(72), 65-78 頁
- 土井菜保子「カザフスタンのエネルギー需給見通し」『エネルギー経済』36(4) (通号 347), 78-88 頁
- 土井菜保子「トルクメニスタンのエネルギー需給見通し」『エネルギー経済』36(5) (通号 348), 33-42 頁
- 富樫耕介「イングーシ共和国における政治的危機とその背景：モスクワの北コーカサス政策の課題」『ロシア・ユーラシア経済』(937), 22-38 頁
- 富樫耕介「ソ連期のチェチェンにおける政治・経済・社会構造：紛争前の構造から紛争への理解を試みる」『国際文化研究』（東北大学国際文化学会）(16), 263-281 頁
- 富樫耕介「社会文化的要因からの第一次チェチェン紛争の考察：社会文化的特徴の重要性と評価を巡る問題」『インターカルチュラル』（日本国際文化学会）(8), 130-145 頁
- 中島隆晴「トルクメニスタン：新規天然ガスパイプライン開設とその意味」『海外事情研究所報告』（通号 44), 65-71 頁
- 中島幸宏「清末新疆における義塾教育」『九州大学東洋史論集』(38), 38-56 頁
- 中杉秀夫「カザフスタンの原子力の現状と対日協力」『ロシア NIS 調査月報』55(7) (通号 945), 30-46 頁
- 中馬瑞貴「カザフスタンの省庁改編と閣僚人事」『ロシア NIS 経済速報』(1492), 1-10 頁
- 西原明史「宮崎駿と「構造」の力：新疆の民族間関係に関する一提案」『安田女子大学紀要』(38), 51-63 頁
- 半谷史郎「ツェリノグラード事件再考：「停滞の時代」のソ連の民族政策」『アジア経済』51(6), 24-42 頁
- 白海提（バフティヤール・イスマーイール）「ホージャ・イスハークの伝記 *Ḍiyā' al-Qulūb* : その構成と執筆意図をめぐって」『西南アジア研究』(72), 48-64 頁
- 廣瀬徹也「中央アジアと日本」『ロシア・ユーラシア経済』(932), 26-40 頁
- 樋渡雅人「ウズベキスタンの『マハッラ』と『自治村落論』：地縁共同体の国際比較に向けて」『経済学研究』60(2) (通号 213), 123-145 頁
- 藤山正二郎「ウイグル民族アイデンティティと民考漢の将来」『福岡県立大学人間社会学部

- 紀要』18(2), 1-12 頁
- ママティ, ラヒラ「中国・新疆におけるウイグル族のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ：中絶に影響を与える要因を中心に」『家政学研究』56(2) (通号 112), 50-58 頁
- 買蘇提 (マソティ), 希日娜依 (シェリンアイ), 大谷順子「中国新疆南部の農村地域におけるウイグル人女性の教育状況に関する調査報告」『九州大学アジア総合政策センター紀要』(4), 67-83 頁
- 松井啓「カザフスタンと中央アジアの新グレートゲーム」『ロシア・ユーラシア経済』(938), 2-19 頁
- 松嶋希会「移行経済国に対する支援：ウズベキスタン・中央アジア諸国」『法律時報』82(1) (通号 1017), 38-41 頁
- 松本和久「新疆生産建設兵団における党・政・軍関係」『早稲田政治公法研究』(93), 43-57 頁
- 森岡修一「中央アジアにおける教育と発展：タジキスタンとカザフスタンの社会変動に関するケース・スタディーを中心に」『コミュニケーション文化論集』(通号 8), 89-112 頁
- 山口博子「紀 [イン] の見た烏魯木齊：清朝による辺境開発の一側面」『都市文化研究』(12), 65-76 頁
- 湯浅剛「ユーラシアの移民と安全保障：問題の位置づけとロシア、カザフスタンの現状」『防衛研究所紀要』12(2・3), 31-47 頁
- 湯浅剛「上海協力機構 (SCO)：地域安全保障に向けた可能性と限界」広瀬佳一、宮坂直史編『対テロ国際協力の構図：多国間連携の実態と課題』ミネルヴァ書房, 133-152 頁
- 玉素甫 阿布拉提「中央アジア諸国において「中国元」を決済通貨とする可能性」『亜細亜大学大学院経済学研究論集』(34), 145-172 頁
- 龍甚良、加藤孝明、小出治「中国の都市地震防災対策における地震被害想定の実用の現状と課題：中国新疆ウイグル自治区ウルムチ市の事例として」『地域安全学会論文集』(12・13), 157-165 頁
- 渡辺梯二、泉山茂之, “Wolf depredation on livestock in the Pamir” 『地理学論集』(85), 26-36 頁